

令和3年度 学校評価報告書
島根県立松江南高等学校

令和4年3月29日

【4段階評価】 A:十分に達成できている状況, B:概ね達成できている状況, C:どちらかといえば達成できていない状況, D:ほとんど達成できていない状況

【肯定的評価(%)】=わからない(実態が分からない)を除いた回答総数(①+②+③+④)における肯定的意見(①+②)の割合

【評価値】 アンケート(回答) ①そう思う(良い)⇒4点, ②大体そう思う(ほぼ良い)⇒3点, ③あまりそう思わない(あまり良くない)⇒2点, ④そう思わない(良くない)⇒1点, ⑤わからない(実態が分からない)

教育目標	重点目標	分掌	学校評価実施項目	学校評価質問項目	肯定的評価(%)			自己評価			学校関係者評価	
					教員	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	評価	概評
<p>【校訓】 「質実剛健・創造進取・和敬共栄」</p> <p>【ビジョン】 主体的・探究的な学びを推進し、地域の進学拠点校として信頼される学校</p> <p>◇生徒に多様な学びや体験の機会を提供し、高いレベルの「学力・社会力・人間力」を育成する学校</p> <p>◇授業改善、探究的な学びを推進し、生徒の挑戦と進路実現を支援する学校</p> <p>◇SSH事業、探究科学科始動、単位制導入などの改革に、進取の気概をもって取り組む学校</p> <p>◇教職員が責任と誇りを持ち、保護者、地域と共に「チーム南」で魅力化を進める学校</p> <p>【育てたい生徒像】 ◇心身ともに自立し、知識・技能を習得・活用して深い学びを主体的に実践する生徒 ◇課題の解決や新たな価値の創造に、他者と切磋琢磨し協働して取り組むことができる生徒 ◇学びを通じて自らが生きるフィールドを見出し、気概をもって挑戦する生徒</p> <p>「育てたい3つの力」 読解力 思考力 主体性</p>	<p>総務</p> <p>関係機関等との連携・運営</p> <p>PTA活動(会合、研修、会誌「清明」の発行等)は活発に行われたか。</p> <p>情報発信</p> <p>教育活動に関して、適切に情報発信を行うことができたか。</p>	81.6	-	86.4	3.1	-	3.0	B	B	【情報発信】 ・コロナ禍で様々な行事の中止が続いている。様々な制約がある厳しい状況である中、教育活動・PTA活動全般によく頑張っている。今後、学校独自に判断できる部分については、積極的に開催していく方向が望ましいのではないが、入試倍率を見ると探究科学科の情報発信に課題があるかとも受け取れるが、社会の状況が不安定な中で保護者は安全志向に走る傾向がある。新しいことを浸透させていく過程においては粘り強く取り組むことが大切である。		
		92.9	-	88.1	3.2	-	3.2	B				
	<p>教務</p> <p>学習習慣確立</p> <p>生徒の主体的な学習活動</p>	生徒の学習習慣を確立させ、基礎学力の定着を図ることができたか。	83.3	72.2	88.6	3.0	2.9	3.1	B	B	【学習習慣確立】【生徒の主体的な学習活動】 ・コロナ禍の状況で基礎学力の定着や主体的な学習を推進していくことは非常に難しいことだったと思われる。そのような中で生徒・保護者の評価が下がっていないのは素晴らしいこと。学びノートの決め細かいチェックなどで学習習慣の定着に注力されている。さすが南高といった印象、よく取り組んでいることが数値からも見て取れる。	
		授業展開を工夫し、生徒が主体的に学習する姿勢を育成することができたか。	85.4	71.9	85.1	3.1	2.9	3.1	B			
	<p>生徒指導</p> <p>基本的な生活習慣、規範意識</p> <p>諸活動への積極的参加</p> <p>いじめ対応</p>	教職員は、挨拶をはじめとする南高生としてのマナーを身につけるよう適切に指導することができたか。	83.7	95.7	81.3	2.9	3.4	3.0	B	B	【基本的生活習慣】【規範意識】 ・南高生の挨拶やマナーはよく出来ている。近年、体調不良など支援の必要な生徒に対する指導が重要である。教職員と生徒の意識差あり。生徒の自己評価がとても高いことに驚いたが、自覚をもって生活できている表れだとも評価できる。 ・十分な活動が行えない中、評価値が下がらなかったことは、十分に評価できる。運動系、文科系とも各種大会でよい成果が見られるのが成果の一つと理解している。また、式典での展示や校内の掲示など、生徒が自主性を発揮した活動が実施されている。 【生徒指導上の組織的対応】 ・コロナ禍とてもストレスの溜まる状況があり、できるだけその時その時の必要な対応をお願いしたい。適切なタイミングでの支援こそ生徒・保護者にとって信頼の基盤である。	
		生徒会活動や部活動をはじめとする様々な活動への生徒の積極的な参加を促し、生徒の自主的な取り組みを支援できたか。	95.3	80.1	90.3	3.2	3.1	3.1	A			
		さまざまな教育活動を通して人権意識を高める取り組みができたか。特にいじめ等の防止・発見、いじめへの組織的な対応ができたか。	95.3	88.0	87.5	3.2	3.2	3.0	B			
	<p>進路指導</p> <p>計画的なキャリア教育</p> <p>実効的なキャリア教育</p>	生徒が自分の将来の職業、資格、働き方、進路などを考えたり決めたりできるように、授業、HR活動、学校行事および進路講演会が行われたか。	76.7	93.1	88.3	3.0	3.4	3.1	B	A	【個に応じた指導の充実】 ・細やかな指導が十分に出来ている。今後も生徒・保護者・先生、三者の話し合いをしっかりとってほしい。一方で、今の生徒に明確な進路設計を早いうちから求めるのは酷い気がします。社会にそういうゆとりがないためですが、それを生徒に押しつけるのもかわいそうかとも思います。大学進学が目指さないように、何のために大学進学を目指すのか、という視点での指導を適宜取り入れてほしい。	
		生徒が自分の進路を研究したり決めたりするために、進路に関する資料の提供や相談・面談など、生徒一人ひとりに応じた進路指導が行われたか。	76.2	94.0	89.4	3.0	3.3	3.2	B			
	<p>教育開発</p> <p>探究的な学び</p> <p>社会に開かれた学び</p>	「未来創造リサーチ&アクション・プログラム(RAP)」・「データサイエンス(DS)」・「総合的な探究の時間」等で、生徒が「探究的な学び」を深めたり「将来の生き方・あり方」について考えを深めたりする取り組みができたか。	75.6	90.3	83.3	3.0	3.3	3.0	B	B	【社会に開かれた教育課程に向けて】 ・先生方の自己評価が下がっている。分掌業務の負担が大きく、こなせていないのかとも思われる。対外的に交流が出来にくい状況だが、ICTを駆使しての対応を望む。内部・外部との連携を有機的に連動させることで、新しい探究的な学びを構築して欲しい。企業・地域を巻き込んだ協働による学びについては追求していける余地がある。SDGs 研究発表会は良かった。	
		大学・企業・地域等と連携し生徒の「探究的な学び」を支えることができたか。	81.4	88.9	82.1	3.1	3.2	3.0	B			
	<p>保健</p> <p>環境美化意識</p> <p>教育相談・特別支援</p> <p>健康指導</p>	清掃やゴミの捨て方の指導をとおして、生徒の美化意識を高めることができたか。	73.8	95.1	-	2.7	3.5	-	B	B	【校内美化】 ・清掃に対する教職員と生徒の意識の差がある。どのように生徒の意識を高めるかが重要である。校内、特に廊下、階段など行き届いた清掃活動ができると良い。 【相談・支援】 ・コロナ禍において、生徒のメンタルの動揺、保健室の来室状況の変化、精神的に不安定であったり支援の必要な生徒への対応など、個に応じて組織的に行っている。 ・忙しい先生方を見て、遠慮のため相談しにくいと感じている生徒もいるように思う。悩みや困り事を相談しにくい状況になっていないか気になる。	
		多様な生徒を支援するために、スクールカウンセラーの利用等に関する情報を発信し、互いに連携することができたか。	82.9	71.9	74.5	3.0	2.9	2.8	B			
		「保健講話」や「保健だより」をとおして、生徒の心身の健康増進を図れたか。	88.4	82.6	-	3.0	3.1	-	B			
	<p>図書</p> <p>図書館活動</p> <p>図書館活動</p>	図書館は、生徒が本に親しみ、自ら学ぶ姿勢が身につくように、読書や探究的な学び(地域課題研究、ポスターセッション、課題研究等)への支援を行ったか。	97.6	91.6	-	3.5	3.3	-	A	A	【図書館活動・メディアスペース】 ・図書館活動は充実した状況である。生徒がよく利用し、満足している様子が数字からも見て取れる。生徒も先生方南高の図書館活動に自信を持っている。一方で生徒の活用状況は二極化しているように思う。引き続き、生徒の読書活動を充実させて欲しい。 ・60周年事業の一環で整備された探究Labと図書館を連動させたメディアスペースを、今後も積極的に活用して欲しい。	
		図書館は、生徒の視野を広げ、豊かな感性を育むことができるように広報(刊行物・掲示等)や図書委員会活動やイベント(ビブリオバトル、コンサート等)の運営を工夫して行ったか。	100.0	91.2	-	3.5	3.3	-	A			
	<p>1学年</p> <p>生徒の主体的な学習活動</p> <p>生徒の自律的な生活支援</p>	教職員は、生徒が「学ぶことの意味」を考え、学びに対して粘り強い姿勢を身につけることができるよう、指導に努めたか。	73.7	89.8	83.4	2.9	3.2	3.0	B	A	【初期指導】 ・新しい探究科学科生徒も普通科生徒も、概ね南高生としての高校生活が送れている。頑張っている。学習習慣の定着に向けて、生徒だけでなく保護者に対しても多様な場を通じて情報発信されており、指導に務められていると認識しています。生徒が持っている興味・関心をもとに、それを保護者・先生が共有し、そこから「学ぶことの意味」へ繋げられると良い。	
		教職員は、生徒が自律的な生活を確立できるよう、指導に努めたか。	82.4	89.3	85.3	3.0	3.2	3.1	B			
	<p>2学年</p> <p>相互尊重と集団意識の醸成</p> <p>生活や学習習慣の確立</p> <p>保護者との連携・生徒理解</p>	教職員は、生徒が互いに尊重しあい、ともに進路実現に向かってチャレンジしていく生徒集団になるよう、指導に努めたか。	84.6	92.5	91.2	3.0	3.3	3.1	B	A	【全体を通じて】 ・学校運営が難しい現状、先の状況も見通せない正解がない中で、先生・生徒は多忙な状況であっても、目標を持って新しいことにチャレンジしている。 ・各部署との連携が年々低下の傾向が見受けられる。行事・会議のスリム化、分掌の有機的連携、分掌数も見直しなどの改善が必要ではないか。 ・コロナ禍の制約の中で、行事や会議等行いにくく、苦勞されていると思う。そのような中でも開催方法、情報伝達方法を工夫され、適切な運営に務めている。 ・学習習慣の定着に向けて、生徒だけでなく保護者に対しても多様な場を通じて情報発信されており、指導に務められていると認識している。	
		教職員は、生徒が健康で自立的な生活習慣に基づいた、授業を中心とする学習習慣を確立できるよう、指導に努めたか。	78.6	93.3	91.2	2.9	3.3	3.1	B			
教職員は、生徒面談や保護者との連絡を密にして生徒理解に努め、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、支援に努めたか。		92.9	93.1	91.8	3.1	3.3	3.2	B				
<p>3学年</p> <p>相互尊重と集団意識の醸成</p> <p>生活や学習習慣の確立</p> <p>保護者との連携・生徒理解</p>	教職員は、生徒が互いに尊重しあい、ともに進路実現に向かってチャレンジしていく生徒集団になるよう、指導に努めたか。	88.9	92.5	85.6	3.4	3.3	3.1	A	A	【その他】 ・引き続きICTを積極的に活用していく必要がある。 ・学校の取組が伝わっていないことから保護者の評価が低く出てくる場合もある。情報提供・アピールを工夫して、保護者が学校の頑張りや正しく評価できるように認識してもらう必要がある。 ・卒業生会(矢の原会)の組織等を活用・連携できる場面がまだまだありそう。学校から手助けが必要な場面の具体を要望すると学校教育の一助となり得ると思う。		
	教職員は、生徒が健康で自立的な生活習慣に基づいた、授業を中心とする学習習慣を確立できるよう、指導に努めたか。	100.0	93.3	85.9	3.4	3.3	3.1	A				
	教職員は、生徒面談や保護者との連絡を密にして生徒理解に努め、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、支援に努めたか。	100.0	93.1	87.4	3.5	3.3	3.2	A				